

テーマの設定理由

幼児が遊びの中で疑問に思ったことや分からないことがあった際、すぐに答えを教師に求める姿が見られることや、教師自身が園内の自然環境を理解しきれておらず、身近な自然を遊びに取り入れることが十分にできていないことが課題であると感じたため。

活動スケジュール

- ・月に一度 園内研究会
(6月20日、11月20日、1月16日は研究保育実施、
講師による指導・助言)
- ・プロ・ナチュラリストによるフィールドワーク
幼児向け：9月8日、11月21日、1月27日
教員向け：12月17日、1月20日、2月10日



- ・園庭で剪定した枝を束ねた粗朶を整備し、ダンゴムシを呼ぶための環境を設定した。
- ・野菜や植物を植え替えるにあたり、幼児とともに遊びの中で先終わりの植物を抜いたり、土づくりをしたりし、虫と出会える場面をつくった。
- ・ダンゴムシ探しを楽しむ場面で、幼児と共に粗朶やプランターを動かし、湿った場所でダンゴムシを探しやすいように環境を再構成した。

活動事例

ダンゴムシはどこにいるかな？



教師とともに幼児が落ち葉の下や粗朶の周辺、プランターの下などを探し、ダンゴムシと出会う経験をしたり、ダンゴムシがどのような場所にいるのか気付いたりする姿が見られた。また、ダンゴムシを探すために必要な道具をそろえたり、教師に「木（粗朶）を動かして！」と伝えたりして自分で探すことを楽しんだ。土を掘りながら繰り返し夢中になって探す姿が見られた。

振り返りを踏まえた気付き

教師とともにダンゴムシと出会い、繰り返し探した経験から、ダンゴムシがいる場所などが体験的に分かり、自分で探してみる姿につながっていた。また、生き物がより集まるようにやきいも会で出た灰を粗朶のそばに撒く姿や、冬にダンゴムシが見られにくくなり寂しがる姿など、ダンゴムシへの親しみを深めていることが分かった。